

DATA ANALYSIS CENTER FOR GEOMAGNETISM AND SPACE MAGNETISM  
operating WORLD DATA CENTER C2 FOR GEOMAGNETISM

### 1. 太陽地球系物理学データベース 'STP' の公開

京都大学理学部附属地磁気世界資料解析センターでは、昭和63年度以降科学研究費（データベース）により太陽地球系物理学（Solar-Terrestrial Physics）データベース 'STP' を京都大学大型計算機センターに構築してきました。現在もなお構築途上で、不十分な点が多々ありますが、利用できるものから順次公開することにいたしました。この他、すでに昭和58年以来利用していただいております共用データベース 'GEOMAG' とあわせご利用ください。このデータベースは、'GEOMAG' と同じリレーショナル型で、現在は個人データベースシステム（UDB）を用いております。京都大学以外の諸機関（但し文部省関係）からは、大学間ネットワーク（N1ネットワーク）を介して利用できます。内容は、

- (1) 電離層電気伝導度テーブル（国際標準電離層モデル）
- (2) 太陽風パラメータ（一時間値）テーブル
- (3) 地磁気指数（一時間値AEおよびDst）テーブル
- (4) 熱圏中性大気モデル（MSIS86）
- (5) 磁気圏磁場モデル（IGRF85及びTsyganenkoモデル）

およびこれらデータをプロットするための応用プログラムから成ります。

詳しくは、裏面の「データベース内容一覧（現状）」および、下記の『利用の手引き』をご覧ください。（(3)および(5)は、9月1日時点ではまだ利用できません。）

### 2. データベース「利用の手引き」の作成と配布

上記データベース 'STP' および 'GEOMAG' の利用の便宜をはかるため、『地磁気・太陽地球系物理学データベース利用の手引き』（初版）を作成いたしました。STEP期間中に当センターで作成を予定しているデータベースの解説等も、今後この利用の手引きに追加し改訂してゆく計画です。主な関係機関には各1冊ずつ配布いたしました。ご希望の方は、お手数ですが、宛名を記入したラベルを同封のうえ、地磁気世界資料解析センターまで郵便またはFAXにてお申込みください。

### 3. 新着地磁気データ

前回ニュース（7月2日発行）以降入手したデータの内、主なものは以下のとおりです。（観測所の位置等については、データカタログまたはデータベース 'GEOMAG' をご参照下さい。）

#### (1) アナログデータ

ノーマルランマグネットグラム：

Nurmijarvi (March and June, 1990) -- Microfiche

#### (2) デジタルデータ

地磁気1分値：

US and Canadian observatories (January-December, 1988)

Kakioka, Kanoya, Memambetsu, Luning (June and July, 1990)

Hermanus (January-April, 1990)

地磁気1秒値：

Kakioka (June and July, 1990)

（裏面へ続く）

#### 4. データベース内容一覧（記事1，2参照）

9月1日時点での現状を以下に示します。

##### (1) 地磁気データベース 'GEOMAG'（共用データベース）

テーブル名	内 容	備 考
STAT	全世界約450ヶ所の地磁気観測所に関する情報	
SDT	当センターにおける地磁気データの収集状況	アナログデータのみ
AUALyy	19yy年の1分値オーロラジェット電流(AE)指数	1981-1986前半
DSTKP	Dst, Kp, ap等地磁気擾乱指数, 太陽黒点数, 太陽電波放射束, IMFセクター推定値	1957-1990.3 (Dstは1984迄)

##### [応用プログラム]

APPL: AE指数1分値を画面あるいはレーザープリンタに任意のスケールでプロットする。

##### (2) 太陽地球系物理学データベース 'STP'（個人データベース A50665）

テーブル名	内 容	備 考
SIGxnn	国際標準電離層モデルに基づく高さ積分された電離層電気伝導度。x: 太陽活動度(L,M,H) nn: 月(1-12)	36 テーブル
IMFP	1時間平均値太陽風パラメータ(惑星間空間磁場, 太陽風プラズマ温度, 密度, 速度等)	1963年以降 DAY89244まで
DSTAE	1時間平均値Dst指数及びAE指数	1957年以降 (未収納)
MAGTSY	Tsyganenkoモデルによる磁気圏磁場ベクトル	(構築中)

##### [応用プログラム]

CSIG: (1) 電離層電気伝導度テーブルの検索・計算・ファイルへの入出力・プロットを行う。プレビュー用とNLP用がある。

(2) 熱圏中性大気モデル(MSIS86)で高さ分布を計算しプロットする。プレビュー用とNLP用がある。

MAGFLD: 地球主磁場およびTsyganenko磁気圏磁場モデルにより, 与えられた地点の磁場を計算する。(未収納)